

## 【第1号議案】

# 平成25年度事業報告

## 1. 概況

我が国経済は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」への期待や、日本銀行による金融政策を背景に、円安・株高が進行し、個人消費に持ち直しの兆しが見えるなど、景気は緩やかながら回復基調で推移しております。

当協会におきましては、消費者への信頼向上を基本とし、ジュエリーコーディネーター資格者の増加や、「つながり愛キャンペーン」を継続実施するなど国内市場の活性化策に取り組む一方、輸出拡大に向けた日本製品のPRにも力を注いで参りました。

その結果、平成25年のジュエリー小売市場規模は前年比5.6%増の9,617億円（矢野経済研究所による推定値）となり、前年に続き2年連続の増加となりました。因みに前年の市場規模は9,110億円（前年比1.8%増）で、平成19年から続いていた縮小傾向に漸く歯止めがかかった年でもありました。

このように当業界にとっては明るい動きが見えてきましたが、今後は消費税率の引き上げ影響を見守る必要もあり、必ずしも楽観は許されないと考えられます。

## 2. 重点施策の実施状況

平成25年度の重点方針は次の7項目としました。その概況について報告します。

### (1) 消費者の信頼向上のための情報開示推進

ジュエリーのインターネット販売の増加に伴い、「ジュエリー素材（貴金属・ダイヤモンド・色石）の表示」、「ダイヤモンドと誤認させる表示について」として、ホームページに注意喚起を促す情報を提供しました。また、海外より合成ダイヤモンドが国内に持ち込まれている状況等を公表し、国内での合成ダイヤモンドの流通が増加しつつあることを踏まえ、天然、合成、類似石における呼称・表示についてホームページで注意喚起を行いました。また、昨年度お客様相談室に寄せられた相談事例をまとめた概要を情報開示しました。

### (2) ジュエリー関連各種規程の周知徹底

今年度、「宝石の定義および命名法」の改訂は完了に至らず、発行にあたって規程の必要性、内容について再検討を行ないました。なお、呼称・表示においては共通言語を使用することが業界、消費者にとって重要であるとの考えから一般社団法人宝石鑑別団体協議会と協力して発行することとし、内容について両団体で最終確認を行っています。

### (3) ジュエリーコーディネーター資格者の増加策検討実施

ジュエリーコーディネーター3級合格者を増やすべく、「ジュエリーコーディネーター検定3級試験対策セミナー」を今期も継続して実施しました。また、会員企業に対して3級テキストを無償配布し、本制度への理解と協力を促しました。なお、ジュエリーコーディネーター資格者の

販売スキルアップとジュエリーコーディネーター資格制度の認知度向上のため、「ジュエリーコーディネーター接客コンテスト」を企画立案し、来年度実施することとなりました。

#### (4) 国内市場活性化対策の一環であるキャンペーンの継続実施

国内市場活性化策として、「JJA ジュエリーつながり愛キャンペーン」を継続実施しました。今年度は、リクルートブライダル総研が運営する「エンゲージメント・プロジェクト」へオフィシャルパートナーとして参画し、「エンゲージメント」をキーワードに展開しました。また、会員に対し、本事業の活性化及び販売促進に繋げていただくよう、「エンゲージメントプロジェクトロゴ」及び「つながり愛キャンペーンロゴ」を無償開放しました。来年度は、前年度の活動を踏まえ、JJA 会員が公平にキャンペーンに参加できるよう、「エテルジュール取扱い募集」の参加費・参加条件・使用素材を緩和し、更なる活性化を図ってまいります。

#### (5) ジュエリーデーの啓蒙

ジュエリーデー（11月11日）は、「いい夫婦の日」とのコラボ企画で、いい夫婦の日をすすめる会の「いい出会いの日（11月11日）」とタイアップし広く全国にPRをしました。ジュエリーデー（11月11日）から、いい夫婦の日（11月22日）、そして12月のクリスマスへと続く贈り物シーズンに向けて、「気持ち伝わる贈り物」として、ジュエリーにまつわる思い出を夫婦・カップルを対象に募集し、「ジュエリー作文コンテスト 2013」を開催しました。また、作文コンテストの結果、受賞者5名に対し、協会のブランド商品である「ETERJOURS」をプレゼントしました。

#### (6) 輸出拡大のための日本製品PR実施

香港ジュエリー&ジュエムフェアにJJA 広報ブースを出展し、「ジュエリーデザインアワード 2013」入賞作品等を展示し、日本製品の技術、デザイン及び品質の高さをPRすると共に日本ジュエリーの紹介とJJA 会員企業の出展場所を示したパンフレットをブースにて配布し、日本ジュエリーのアピール、会員企業ブースへの誘導、プレス対応などの広報活動を行ないました。また、香港インターナショナル・ジュエリー・ショー2014では、日本から出展する会員企業をJJA がとりまとめ、「ジャパンパビリオン」として出展し、海外の事業者に向けて、日本ジュエリーの良さをPRしました。

#### (7) ジュエリーデザインアワード応募数の拡大策検討実施

ジュエリーデザインアワード応募数の拡大のため、委員会が主体となって会員企業を中心に応募の声がけをした結果、全国から126作品の応募作品が集まり、前年比150%の応募数増となりました。

### 3. 各事業別実績状況

各事業実績の概要は次の通りです。

## 【実施事業等会計】

### (1) 相談・助言事業

お客様相談室に寄せられた相談の中から、業界コンプライアンスに係る問題を取り上げ、討議し消費者保護のための対策を取りました。今年度の相談件数は 344 件で、前年度比 96.6%でした。出張講座は、「ジュエリーの基礎知識と相談事例」と題し、12 件開催しました。また、「お客様クレーム対応マニュアル」の改訂版を発行し、クレーム発生未然防止にお役立ていただくよう、全会員とジュエリーコーディネーター資格者に配布しました。

### (2) 調査・規格事業

#### ① 規格事業

貴金属規定について、「ジュエリー及び貴金属製品の素材等の表示規定」の来年度増刷を決定しました。ダイヤモンド関連では、ダイヤモンドグレーディング問題の再発防止策に基づき、今後の調査実施について検討しました。また、今期実施予定であった「宝石の定義および命名法改訂案」は、印刷に至らず一般社団法人宝石鑑別団体協議会との間で内容の確認を行ないました。「トレードコード」についても来年度の持ち越しとなりました。また、GIA よりダイヤモンド・チェック（識別装置）の無償貸与を受け、運用を開始しました。

#### ② 国際事業

2013 年 5 月にイスラエルで行われた CIBJO 年次総会に 2 名を派遣しました。また、2014 年 5 月にロシアで行われる CIBJO 年次総会には、3 名を派遣することを決定しました。

#### ③ 広報事業

広報は事業方針を踏まえ、①定例記者会見の実施。②日本宝飾記者会と一般メディアにニュースリリースの配信。③メディア取材対応。④業界誌および一般紙に広告掲載。⑤会員および日本宝飾記者会にメールマガジンを配信しました。また、JJA レポートは年 4 回（第 90 号～第 93 号）を発行し配布しました。

#### ④ 統計事業

定期業況調査は年 4 回、また、2013 年の小売市場統計（含む貿易統計）を実施し、分析結果を会員に報告しました。

## 【その他会計】

### (1) 能力開発事業

#### ① 資格付与事業

平成 25 年 8 月にジュエリーコーディネーター検定 第 9 回 1 級 1 次、第 15 回 2 級、第 27 回 3 級の試験を実施しました。

受験者数は、東京 501 名(前年 564 名)、名古屋 113 名(前年 97 名)、大阪 240 名(前年 202 名)、福岡 101 名(前年 127 名)。合計 955 名(前年 990 名)でした。また、平成 26 年 3 月のジュエリーコーディネーター検定第 28 回 3 級試験の実施では、東京 474 名(前年 289 名)、甲府 70 名(前年 95 名)、名古屋 166 名(前年 63 名)、大阪 256 名(前年 156 名)、福岡 145 名(前年 54 名)で、合計 1,111 名(前年 657 名)が受験しました。

#### ② 人材育成事業

ジュエリーコーディネーター資格者に JC 誌（4 回発行/年）を配布しました。

資格更新予定者には、東京 10 回/年、名古屋 2 回/年、大阪 2 回/年、福岡 1 回/年と更新のた

めの講習会を行い384名が受講しました。更新にあたり講習会に参加できない資格更新予定者224名は、課題提出で対応しました。また、ジュエリーコーディネーター3級資格取得希望者向けの通信講座を学校法人産業能率大学へ委託し、通信講座の受講者数は135名、開講以来延べ4,861人となりました。

会員向けには、セミナーを18講座開催し、延べ1,185名が受講しました。また、造幣局見学会を7回開催しました。

技能者育成支援事業については、中央職業能力開発協会主催の技能検定、技能五輪（全国大会・国際大会）に対する支援業務をジュエリー製造等団体協議会（JMC）に委託しJJAとして支援を行いました。また、来年度より外部へは委嘱せず、JJA内で事業を継続することとなり、活動を開始するにあたり、事前調整、今後の活動について話し合いをしました。

## （2）産業活性化事業

### ① ビジネス支援事業

国内市場の活性化策として、今年も「JJA ジュエリーつながり愛キャンペーン」を実施し、業界活性に取り組みました。キャンペーンには、オフィシャルメーカー・卸5社、オフィシャルメーカー・卸グループ4社、オフィシャルリテーラー48社265店舗、サイトホルダーロージィブルーが参加しました。また、7月7日の「エンゲージメントデー」のイベントに共催し、公募用プレゼントに「ETERJOURS」を進呈し商品の露出を図りました。

ジュエリーデーは、「いい夫婦の日」とのコラボ企画で実施しました。また、ジュエリーにまつわる思い出を募集する「ジュエリー作文コンテスト 2013」には、公募用プレゼントとして、「ETERJOURS」を提供し商品の露出を図りました。

海外ビジネス支援としては、「香港ジュエリー&ジュエルフェア」に於いてJJA広報ブース出展し、JJA ジュエリーデザインアワード 2013 の上位賞等を展示し、「香港インターナショナル・ジュエリー・ショー」では、日本からの出展社をまとめたエリアに集結させ、「ジャパンパビリオン」として出展し、日本ジュエリーを海外へアピールする活動と会員企業の海外進出への支援活動を行ないました。

### ② 展示会事業

8/27～29に東京ビッグサイトでJJFを開催しました。中国を中心とした海外バイヤーの増加を含め海外からの来場者が増加傾向で積極的な商談が行われました。また、今年の新企画として開催した、「ジュエリー業界が選ぶ第1回ウーマン オブ ザ イヤー」への来場者及びメディアの関心度は高く、多くの観客を集めることが出来ました。1/22～25のIJTでは、海外有力バイヤー840名の特別招待等で昨年以上の盛り上がりがありました。

### ③ コンクール事業

JJA ジュエリーデザインアワード 2013 では、全国から126作品の応募作品が集まり、38作品の入賞作品が選ばれました。入賞作品は、8月開催のJJF会場にて展示され、上位作品は香港ジュエリー&ジュエルフェアで展示しました。また、昨年に引き続き箱根ラリック美術館で展示し、多くの人の目に触れる機会となりました。

## （3）その他事業

① 出版事業

ジュエリーコーディネーターのテキスト販売数は、2級テキスト 239 冊/年、3級テキスト 2,883 冊/年でした。2級試験問題集は、338 冊/年、3級試験問題集は、793 冊/年でした。また、ジュエリー用語辞典の販売数は、143 冊/年でした。

② PL、福祉共済保険事業

会員に対し、グループ保険のスケールメリットを全面に打ち出したレターを出状し、加入増を図りました。

③ その他

ISO 原案回答業務（受託事業）

ISO/TC174（ジュエリー）の国際規格について、一般財団法人日本規格協会との請負契約に基づき、国際規格回答原案作成に関する業務を行いました。

照会件数 13 件、回答件数 13 件（SR・定期見直し 0 件、NWIP・新規提案 0 件、DIS・規格最終案 12 件、その他 1 件）。

## 1. 会員の推移状況

	個人・法人正会員		団体正会員	賛助会員
	会員数	口数	会員数	会員数
期首の会員	805	1,047	15	14
年度中の入会	40	54	0	1
年度中の変更	2	3	—	—
年度中の退会	35	38	3	1
期末の会員	810	1,068	12	14

## 2. 表彰受章者（平成 25 年度）

早川 守彦（ハヤカワ モリヒコ） ㈱伊東商店 卓越技能章（現代の名工）

# (一社) 日本ジュエリー協会 役員名簿

平成 26 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	丸 山 朝	理 事	菅 田 茂
副 会 長	中 川 千 秋	〃	木 島 公 平
〃	近 藤 誠	〃	武 内 佐 忠
専 務 理 事	菅 沼 義 夫	〃	仲 川 三 秀
常 任 理 事	相 原 信 雄	〃	西 田 良 洋
〃	今 西 信 隆	〃	野 澤 治 房
〃	梶 光 夫	〃	平 野 和 良
〃	亀 山 実	〃	深 沢 栄 二
〃	小 山 藤 太	〃	松 井 久 子
〃	佐 久 間 靖 晃	〃	望 月 直 樹
〃	山 口 純	〃	望 月 尚
理 事	伊 藤 悟		
〃	氏 家 和 彦	監 事	内 原 一 郎
〃	片 桐 俊 一	〃	林 英 夫
〃	加 藤 久 雄		
〃	川 口 哲 生		

役 職	氏 名	役 職	氏 名
顧 問	長 堀 守 弘	顧 問	桑 山 征 洋
〃	政 木 喜 三 郎	〃	堀 奉 之

## 【第2号議案】 平成25年度決算報告

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

一般社団法人 日本ジュエリー協会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	22,105	198,115	△ 176,010
当座預金	69,782,741	53,440,527	16,342,214
普通預金	63,342,370	53,702,481	9,639,889
未収金	4,192,380	3,791,710	400,670
貯蔵品	5,622,664	7,804,759	△ 2,182,095
前払費用	0	300,040	△ 300,040
流動資産合計	142,962,260	119,237,632	23,724,628
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,539,600	2,965,200	574,400
JC事業引当資産	82,985,000	85,340,000	△ 2,355,000
会館修繕積立資産	28,300,000	28,300,000	0
特定資産合計	114,824,600	116,605,200	△ 1,780,600
(3) その他固定資産			
土地	275,000,000	275,000,000	0
建物	87,006,026	89,014,629	△ 2,008,603
建物附属設備	9,145,567	10,920,203	△ 1,774,636
構築物	425,778	567,703	△ 141,925
什器備品	853,882	1,200,978	△ 347,096
マスターストーン	6,538,285	6,538,285	0
電話加入権	163,296	163,296	0
その他の固定資産合計	379,132,834	383,405,094	△ 4,272,260
固定資産合計	493,957,434	500,010,294	△ 6,052,860
資 産 合 計	636,919,694	619,247,926	17,671,768
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	805,476	1,300,906	△ 495,430
前受金	3,777,850	2,774,000	1,003,850
預り金	563,149	1,050,731	△ 487,582
未払消費税等	1,160,700	1,592,000	△ 431,300
流動負債合計	6,307,175	6,717,637	△ 410,462
2. 固定負債			
長期前受金	82,985,000	85,340,000	△ 2,355,000
退職給付引当金	3,539,600	2,965,200	574,400
固定負債合計	86,524,600	88,305,200	△ 1,780,600
負 債 合 計	92,831,775	95,022,837	△ 2,191,062
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	544,087,919	524,225,089	19,862,830
(うち特定資産への充当額)	(114,824,600)	(116,605,200)	1,780,600
正 味 財 産 合 計	544,087,919	524,225,089	19,862,830
負債及び正味財産合計	636,919,694	619,247,926	17,671,768



## 貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

一般社団法人 日本ジュエリー協会

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I. 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現 金	0	0	22,105	0	22,105
当座預金	0	22,301,635	47,481,106	0	69,782,741
普通預金	0	61,247,568	2,094,802	0	63,342,370
未収金	0	4,192,380	0	0	4,192,380
貯蔵品	0	5,622,664	0	0	5,622,664
未払費用	0	0	0	0	0
流動資産合計	0	93,364,247	49,598,013	0	142,962,260
2. 固定資産					
(1) 基本財産	0			0	0
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	0	0	3,539,600	0	3,539,600
JC事業引当資産	0	82,985,000	0	0	82,985,000
海外展開支援引当資産	0	0	0	0	0
会館修繕積立資産	0	0	28,300,000	0	28,300,000
特定資産合計	0	82,985,000	31,839,600	0	114,824,600
(3) その他固定資産					
土地	0	0	275,000,000	0	275,000,000
建物	0	0	87,006,026	0	87,006,026
建物附属設備	0	0	9,145,567	0	9,145,567
構築物	0	0	425,778	0	425,778
什器備品	0	0	853,882	0	853,882
マスターストーン	0	0	6,538,285	0	6,538,285
電話加入権	0	0	163,296	0	163,296
その他の固定資産合計	0	0	379,132,834	0	379,132,834
固定資産合計	0	82,985,000	410,972,434	0	493,957,434
資 産 合 計	0	176,349,247	460,570,447	0	636,919,694
<b>II. 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	0	744,280	61,196	0	805,476
前受金	0	3,777,850	0	0	3,777,850
預り金	0	0	563,149	0	563,149
未払消費税等	0	0	1,160,700	0	1,160,700
流動負債合計	0	4,522,130	1,785,045	0	6,307,175
2. 固定負債					
長期前受金	0	82,985,000	0	0	82,985,000
退職給付引当金	0	0	3,539,600	0	3,539,600
固定負債合計	0	82,985,000	3,539,600	0	86,524,600
負 債 合 計	0	87,507,130	5,324,645	0	92,831,775
<b>III. 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	0	88,842,117	455,245,802	0	544,087,919
正 味 財 産 合 計	0	88,842,117	455,245,802	0	544,087,919
負債及び正味財産合計	0	176,349,247	460,570,447	0	636,919,694

# 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

一般社団法人 日本ジュエリー協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	480,000	200,000	280,000	
正会員	380,000	150,000	230,000	
団体会員	0	50,000	△ 50,000	
賛助会員	100,000	0	100,000	
受取会費	36,170,000	37,600,000	△ 1,430,000	
正会員	30,960,000	31,770,000	△ 810,000	
団体会員	1,680,000	1,750,000	△ 70,000	
賛助会員	3,530,000	4,080,000	△ 550,000	
事業収益	140,573,091	131,163,284	9,409,807	
調査・規格事業	0	0	0	
資格付与事業	33,026,778	30,866,000	2,160,778	登録と検定収入
人材育成事業	38,728,100	40,415,800	△ 1,687,700	維持会費と通信
ビジネス支援事業	8,679,263	4,998,055	3,681,208	つながり愛キャンペーン
展示会事業	41,000,000	41,000,000	0	共催事業収入
コンクール事業	529,000	430,000	99,000	応募料収入
出版事業	13,385,140	10,265,005	3,120,135	図書収入
物品販売事業	3,518,230	1,216,530	2,301,700	物品販売収入
共済事業	1,355,975	1,397,900	△ 41,925	業務受託収入
その他事業	350,605	573,994	△ 223,389	
受取負担金	1,731,000	1,310,000	421,000	懇親会収入
雑収益	35,889	418,427	△ 382,538	
経常収益計	178,989,980	170,691,711	8,298,269	
(2) 経常費用				
事業費	139,884,742	138,862,500	1,022,242	
役員報酬	1,600,000	300,000	1,300,000	
給料手当	23,472,255	27,288,772	△ 3,816,517	
福利厚生費	3,919,409	4,476,041	△ 556,632	
会議費	117,242	181,097	△ 63,855	
旅費交通費	1,865,820	2,548,430	△ 682,610	
通信運搬費	6,505,748	6,606,190	△ 100,442	
減価償却費	3,417,809	3,837,461	△ 419,652	
消耗什器備品費	46,536	227,640	△ 181,104	
消耗品費	8,855,593	8,099,725	755,868	
修繕費	35,364	0	35,364	
印刷製本費	17,367,844	18,321,191	△ 953,347	
光熱水料費	875,826	787,925	87,901	
賃借料	2,739,155	2,368,360	370,795	
保険料	1,517,322	1,226,891	290,431	
諸謝金	3,001,376	3,582,760	△ 581,384	
租税公課	3,530,948	3,222,013	308,935	
支払負担金	3,246,822	2,645,060	601,762	
委託費	21,887,423	21,716,728	170,695	
広告費	34,987,941	30,298,252	4,689,689	
新聞図書費	200,812	191,941	8,871	
支払手数料	502,516	527,484	△ 24,968	
雑 費	190,981	408,539	△ 217,558	

科 目	当年度	前年度	増減額	備 考
管理費	19,242,408	21,816,087	△ 2,573,679	
役員報酬	400,000	75,000	325,000	
給料手当	5,868,064	6,822,194	△ 954,130	
退職給付費用	574,400	1,547,600	△ 973,200	
福利厚生費	979,851	1,119,011	△ 139,160	
会議費	2,272,225	1,953,978	318,247	
旅費交通費	3,505,840	4,226,900	△ 721,060	
通信運搬費	271,089	249,544	21,545	
減価償却費	854,451	959,365	△ 104,914	
消耗什器備品費	11,634	56,910	△ 45,276	
消耗品費	223,657	261,117	△ 37,460	
修繕費	8,841	0	8,841	
印刷製本費	44,255	90,111	△ 45,856	
光熱水料費	218,956	196,982	21,974	
賃借料	125,720	125,720	0	
保険料	218,136	229,674	△ 11,538	
諸謝金	1,894,910	2,169,424	△ 274,514	
租税公課	881,326	804,122	77,204	
支払負担金	159,920	169,520	△ 9,600	
委託費	523,647	544,510	△ 20,863	
新聞図書費	50,202	43,842	6,360	
支払手数料	116,260	125,462	△ 9,202	
雑費	39,024	45,101	△ 6,077	
經常費用計	159,127,150	160,678,587	△ 1,551,437	
当期經常増減額	19,862,830	10,013,124	9,849,706	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	19,862,830	10,013,124	9,849,706	
一般正味財産期首残高	524,225,089	514,211,965	10,013,124	
一般正味財産期末残高	544,087,919	524,225,089	19,862,830	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	544,087,919	524,225,089	19,862,830	

# 正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

一般社団法人 日本ジュエリー協会

(単位:円)

科 目	実施事業等会計			その他会計				法人会計	合計
	相談・助言事業	調査・規格事業	小計	能力開発事業	産業活性化事業	その他事業	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	480,000	480,000
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	36,170,000	36,170,000
事業収益	0	0	0	71,754,878	50,208,263	18,609,950	140,573,091	0	140,573,091
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	1,731,000	1,731,000
雑収益	0	0	0	25,801	209	1,797	27,807	8,082	35,889
経常収益計	0	0	0	71,780,679	50,208,472	18,611,747	140,600,898	38,389,082	178,989,980
(2) 経常費用									
事業費	9,659,646	12,600,263	22,259,909	55,361,788	50,337,296	11,925,749	117,624,833	0	139,884,742
管理費	0	0	0	0	0	0	0	19,242,408	19,242,408
経常費用計	9,659,646	12,600,263	22,259,909	55,361,788	50,337,296	11,925,749	117,624,833	19,242,408	159,127,150
当期経常増減額	△ 9,659,646	△ 12,600,263	△ 22,259,909	16,418,891	△ 128,824	6,685,998	22,976,065	19,146,674	19,862,830
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,659,646	△ 12,600,263	△ 22,259,909	16,418,891	△ 128,824	6,685,998	22,976,065	19,146,674	19,862,830
一般正味財産期首残高			△ 25,117,920				67,920,940	481,422,069	524,225,089
一般正味財産期末残高			△ 47,377,829				90,897,005	500,568,743	544,087,919
II 正味財産期末残高			△ 47,377,829				90,897,005	500,568,743	544,087,919

## 財務諸表に対する注記

一般社団法人 日本ジュエリー協会

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・移動平均法に基づく原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物 は定額法。その他は定率法。耐用年数及び残存価格は法人税法に規程する方法と同一基準。

無形固定資産・・・定額法。耐用年数及び残存価格は法人税法に規程する方法と同一基準。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金について、職員の期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

今年度は特になし。

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,965,200	574,400	0	3,539,600
J C 事業引当資産	85,340,000	0	2,355,000	82,985,000
会館修繕積立資産	28,300,000	0	0	28,300,000
合 計	116,605,200	574,400	2,355,000	114,824,600

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当 額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,539,600	0	0	(3,539,600)
J C 事業引当資産	82,985,000	0	0	(82,985,000)
会館修繕積立資産	28,300,000	0	(28,300,000)	0
合 計	114,824,600	0	(28,300,000)	(86,524,600)

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	100,430,189	13,424,163	87,006,026
建物付属設備	29,569,811	20,424,244	9,145,567
構築物	1,365,000	939,222	425,778
什器備品	9,105,321	8,251,439	853,882
合 計	140,470,321	43,039,068	97,431,253

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	4,192,380	0	4,192,380
合 計	4,192,380	0	4,192,380

# 附属明細書

一般社団法人 日本ジュエリー協会

## 1. 特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	退職給付引当資産	2,965,200	574,400	0	3,539,600
	J C事業引当資産	85,340,000	0	2,355,000	82,985,000
	会館修繕積立資産	28,300,000	0	0	28,300,000
合計		116,605,200	574,400	2,355,000	114,824,600

## 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,965,200	574,400	0	0	3,539,600

# 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

一般社団法人 日本ジュエリー協会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	22,105
預金	当座預金	運転資金として	69,782,741
	みずほ銀行		3,866,922
	三菱東京UFJ銀行		43,397,014
	ゆうちょ銀行会費		217,170
	ゆうちょ銀行JC		1,774,075
	ゆうちょ銀行検定		20,527,560
	普通預金	運転資金として	63,342,370
	みずほ銀行収益		4,304,393
	みずほ銀行PL		1,347,033
	三菱東京UFJ銀行法人		2,094,802
	三菱東京UFJ銀行JC		48,317,998
	三菱東京UFJ銀行収益		3,919,892
	三菱東京UFJ銀行つながり愛		3,358,252
未収金			4,192,380
JC	2・3月請求テキスト代・通信教育収入	出版事業に対する未収金	3,285,000
その他	福祉共済受託料	共済事業に対する未収金	907,380
貯蔵品			5,622,664
	JC2級・3級テキスト・過去問題	出版事業に使用するもの	5,112,114
	用語事典31冊	〃	82,150
	PL注意表示カード 80万枚	物販事業に使用するもの	428,400
流動資産合計			142,962,260
(固定資産)			
特定資産			114,824,600
	退職給付引当資産		3,539,600
	JC事業引当資産		82,985,000
	会館修繕積立資産		28,300,000
その他固定資産			379,132,834
	土地	272.29㎡東京都台東区 東上野2-23-25	一般財産であり、各 事業等の施設に使用 している 275,000,000
	建物	646.23㎡東京都台東区 東上野2-23-25	〃 87,006,026
	建物付属設備	電気・給排水衛生設備他	〃 9,145,567
	構築物	門扉・駐車場伸縮門扉	〃 425,778
	什器備品	会議用テーブル・イス他	一般財産であり、各 事業等に使用してい る 853,882
	マスターストーン		〃 6,538,285
	電話加入権		〃 163,296
固定資産合計			493,957,434
資産合計			636,919,694



貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金			805,476
	J A	3月分インターネット通信費		735
	J C	3月分JC通信費	3月分の各事業の支払	616,755
	P L	3月分P Lカード通信費	〃	1,533
	管理費	3月分通信費	〃	61,196
	その他	3月分セラー・国内活性化通信費	〃	125,257
	前受金			3,777,850
	J C	J C 8月検定受験料	次年度の収入	22,000
	その他	つながり愛キャンペーン参加費	〃	3,755,850
	預り金			563,149
	社会保険料	2・3月分	翌月支払分	273,685
	住民税	3月分	〃	94,700
	源泉税給与	〃	〃	42,990
	源泉税報酬	〃	〃	10,210
	源泉税謝金	〃	〃	141,564
	未払消費税等	〃	確定申告後支払分	1,160,700
流動負債合計				6,307,175
(固定負債)	長期前受金	JC維持会費前受4年分	維持会費事業の支払に備えたもの	82,985,000
	退職給付引当金	従業員に対するもの	一般職員6名に対する退職金の支払いに備えたもの	3,539,600
固定負債合計				86,524,600
負債合計				92,831,775
正味財産				544,087,919

【参考】

## 平成25年度 収支計算書(正味財産増減計算書)

平成25年4月1日から平成26年 3月31日まで

一般社団法人 日本ジュエリー協会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	250,000	480,000	230,000	
正会員	250,000	380,000	130,000	
団体会員	0	100,000	100,000	
受取会費	35,880,000	36,170,000	290,000	
正会員	30,000,000	30,960,000	960,000	
団体会員	1,800,000	1,680,000	△ 120,000	
賛助会員	4,080,000	3,530,000	△ 550,000	
事業収益	127,610,000	140,573,091	12,963,091	
調査・規格事業	0	0	0	
資格付与事業	28,760,000	33,026,778	4,266,778	登録と検定収入
人材育成事業	35,980,000	38,728,100	2,748,100	維持会費と通信
ビジネス支援事業	8,900,000	8,679,263	△ 220,737	つながり愛キャンペーン
展示会事業	41,000,000	41,000,000	0	共催事業収入
コンクール事業	500,000	529,000	29,000	応募料収入
出版事業	9,800,000	13,385,140	3,585,140	図書収入
物品販売事業	1,040,000	3,518,230	2,478,230	物品販売収入
共済事業	1,300,000	1,355,975	55,975	業務受託収入
その他事業	330,000	350,605	20,605	
受取負担金	1,300,000	1,731,000	431,000	懇親会収入
雑収益	0	35,889	35,889	
経常収益計	165,040,000	178,989,980	13,949,980	
(2) 経常費用				
事業費	150,200,000	139,884,742	△ 10,315,258	
役員報酬	4,800,000	1,600,000	△ 3,200,000	
給料手当	28,000,000	23,472,255	△ 4,527,745	
福利厚生費	4,768,000	3,919,409	△ 848,591	
会議費	180,000	117,242	△ 62,758	
旅費交通費	2,160,000	1,865,820	△ 294,180	
通信運搬費	5,664,000	6,505,748	841,748	
減価償却費	3,440,000	3,417,809	△ 22,191	
消耗什器備品費	320,000	46,536	△ 273,464	
消耗品費	10,722,000	8,855,593	△ 1,866,407	
修繕費	16,000	35,364	19,364	
印刷製本費	14,450,000	17,367,844	2,917,844	
光熱水料費	776,000	875,826	99,826	
賃借料	2,722,000	2,739,155	17,155	
保険料	1,500,000	1,517,322	17,322	
諸謝金	3,740,000	3,001,376	△ 738,624	
租税公課	4,032,000	3,530,948	△ 501,052	
支払負担金	2,688,000	3,246,822	558,822	
委託費	26,832,000	21,887,423	△ 4,944,577	
広告費	32,430,000	34,987,941	2,557,941	
新聞図書費	216,000	200,812	△ 15,188	
支払手数料	536,000	502,516	△ 33,484	
雑 費	208,000	190,981	△ 17,019	

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
管理費	23,650,000	19,242,408	△ 4,407,592	
役員報酬	1,200,000	400,000	△ 800,000	
給料手当	7,000,000	5,868,064	△ 1,131,936	
退職給付費用	900,000	574,400	△ 325,600	
福利厚生費	1,192,000	979,851	△ 212,149	
会議費	2,540,000	2,272,225	△ 267,775	
旅費交通費	4,920,000	3,505,840	△ 1,414,160	
通信運搬費	256,000	271,089	15,089	
減価償却費	860,000	854,451	△ 5,549	
消耗什器備品費	80,000	11,634	△ 68,366	
消耗品費	278,000	223,657	△ 54,343	
修繕費	4,000	8,841	4,841	
印刷製本費	40,000	44,255	4,255	
光熱水料費	194,000	218,956	24,956	
賃借料	128,000	125,720	△ 2,280	
保険料	230,000	218,136	△ 11,864	
諸謝金	1,840,000	1,894,910	54,910	
租税公課	1,008,000	881,326	△ 126,674	
支払負担金	172,000	159,920	△ 12,080	
委託費	568,000	523,647	△ 44,353	
新聞図書費	54,000	50,202	△ 3,798	
支払手数料	134,000	116,260	△ 17,740	
雑費	52,000	39,024	△ 12,976	
經常費用計	173,850,000	159,127,150	△ 14,722,850	
当期經常増減額	△ 8,810,000	19,862,830	28,672,830	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,810,000	19,862,830	28,672,830	
一般正味財産期首残高	524,225,089	524,225,089	0	
一般正味財産期末残高	515,415,089	544,087,919	28,672,830	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	515,415,089	544,087,919	28,672,830	

平成 26 年 4 月 24 日

一般社団法人日本ジュエリー協会  
会 長 丸 山 朝 殿

監事 内原 一郎 印  
監事 林 英夫 印

## 監査報告書

私たち監事は、当協会の平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの平成 25 年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項（同法第 197 条において準用する第 99 条第 1 項）（並びに公益社団法人の認定等に関する法律施行規則第 33 条第 2 項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、当協会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

### 2. 監査の結果

#### （1） 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制するシステムの整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

#### （2） 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

## 公益目的支出計画実施報告書

実施期間 平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日）

	実績	計画
1. 公益目的財産額	388,794,370 円	364,212,650 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額	22,259,909 円	30,626,130 円
(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	36,670,540 円	61,252,260 円
(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	22,259,909 円	30,626,130 円
(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	0 円	0 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産額	366,534,461 円	333,586,520 円
4. 計画と実績に乖離がある理由		
計画作成時点の見込みに比べ、継 1（調査・規格事業）における支出額が見込み額を下回った。		
5. 計画上の公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	平成 37 年 3 月 31 日	

平成 26 年 4 月 24 日

一般社団法人日本ジュエリー協会  
会 長 丸 山 朝 殿

一般社団法人日本ジュエリー協会  
監事 内原 一郎 印  
監事 林 英夫 印

## 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

私たち監事は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

### 2. 監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上